

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2016年9月号



発行人：濱塚有史 編集人：君塚彩 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「子ども達の良き時代」

東森 聡（前潟センター副所長 たもりリーダー）

「たもり～！遊ぼお～！」子ども達からのお誘い。私の1日の中で一番、笑顔になれる瞬間です。

私が盛岡YMCAの子ども達に初めて会ったのは2011年4月、ふらいむ・たいむ本町校でした。本町校の子ども達は、初めて会う40歳（当時）のおじさんに容赦なく笑顔でパンチやキックを・・・。

「とんでもないどこに来てしまった！」これが盛岡YMCAに対する私の第一印象でした。しかし、2日経ち、3日経ち、1週間過ぎる頃には「お山の大将」のようになっている自分がいたのです。そうです。「私がとんでもない奴」になっていました。

私がYMCAで過ごしたかった大きな理由は、自分が子どもの頃の楽しかった事を、今の子ども達にも知ってほしいと思ったからです。学校帰りのザリガニ捕獲、田んぼのあぜ道でバッタやイナゴと追いかけて、広範囲を使った絶対につかまらない鬼ごっこ、積み重なった大きな岩の隙間に作った秘密基地、お米収穫後のたんぼのど真ん中に作った見通しの良い秘密基地、などなど・・・。現代の社会じゃ考えられない（できない）楽しすぎる日々を過ごしてきました。今では外で遊ぶ事自体が危険とまで言われ、家庭用ゲームや携帯ゲームの普及も伴い、体を動かす機会が減少しています。怪我を

して何が危険か、転んでみてどう受け身を取ればいいのかを自分で知る術がなくなってしまっています。

しかし、YMCAの子ども達は、現代の遊びも、昔の遊びもできる「ハイブリッドチルドレン」だったのです。それは、遊ぶ事が大好きなスタッフや大学生リーダーが、子ども視点から危険を予測し、環境を整えてから、子ども達と最大限の遊びを一緒に考えて一緒に思いっきり楽しんでいるからでした。怪我もします。ぶつかり合いもあります。でも、いつもみんな一緒に一生懸命でした。

現在は、ふらいむ・たいむ前潟校で39名の子ども達と過ごしています。全身びしょ濡れの水遊びや、本気の段ボール武器作り、ロングケンケンパや、昔懐かしいゴムとび、時には「ダンス部」を結成し、本気で取り組みました。今の前潟校には「畑」もあり、自然にも触れる事ができます。「古き良き時代」はYMCAの子ども達には伝えなくても大丈夫。YMCAの子ども達にとって、今が「良き時代」です。

「たもり～！遊ぼお～！」 まだまだ子ども達には負けません。



☀️ キャンプで過ごした、とびっきりの熱い夏！ ☀️

盛岡YMCAの夏といえば、サマーキャンプ！8月には4つのキャンプが行われ、それぞれ素敵な思い出が生まれました。各キャンプを引っ張ってくれたリーダーたちより、レポートが届いています♪



サッカーキャンプは、いつもベストキッズで会っているメンバーを中心としたメンバーのキャンプでしたが、東京からきてくれたメンバーから岩手の他のチームでサッカーをしているメンバーなど、それぞれがいつも会っているメンバーではないという中でのキャンプとなりました。しかし、サッカー好きという点で全員が同じ共通点を持っていることからすぐに打ち解けていき

とてもいい雰囲気です4日間過ごしていきました。

サッカーの練習や試合の場面では、初めて会う子もいるなかでしたが、積極的にサッカーに取り組んでいくようになっていきました。サッカーを通してお互いを認め、自分を表現しようというシーンがたくさん見えました。

最終日の岩手山カップでは、ほんとうにそれぞれのチームの力が拮抗している状態で、どのチームも優勝を目指して全力を尽くしました。本当にそれぞれのチームが生き活きとしていて、どのチームもすばらしい試合をしてくれました。



キャンプの中でも、子供たちが何かを通して全力で闘うという姿が見れるのはサッカーキャンプだけだと思います。全力でサッカーに取り組み、一緒にプレーした仲間を認め、お互いに影響しあう。そういったことがたくさんみられたキャンプになりました！最高に熱く最高な夏の思い出をみんなで作ることができました！また、みんなでサッカーしましょう！

盛岡大学4年 東海林俊一（ますおリーダー）



8月5日と6日の2日間、岩手山焼走り国際交流村で星空満天キャンプが行われました。キャンプ中は晴天に恵まれ、子供たちの笑顔は太陽に負けないくらいキラキラ輝いていた素敵なキャンプになりました。

キャンプ場までのバス車内では手遊びをしたりリーダーが作ったキャンプソングなどを歌いながら楽しく過ごしました。

キャンプ場について、まずはテントの設置、はじめは皆、苦戦していましたが、協力して立てることができました。

お昼ご飯を食べた後はみんなで、広い原っぱで思い切り遊びました。大声伝言ゲームや水運びリレーをグループ対抗で競いました。とても白熱したバトルになりました。

みんなで遊んだあとは夕食のカレーを作りました。薪割りから、飯ごう、火付け、食材切りをグループで分担して夕食をつくりました。

夕食ができた後は、みんなで天文台に行き、天体望遠鏡で月や土星などを見ました。生で初めて見る惑星にみんな大興奮。みんなこぞって天体望遠鏡を覗いていました。

天文台に行った後は、星空の下みんなで夕食タイム。星を見ながら、自分たちで作ったカレーをモリモリ食べていました。

就寝前にはみんなで天体観測をしました。普段見ることができない星の量に圧倒され、またたくさん流れ星も見ることができました。

2日目の朝には朝の集いをして、朝ごはんの中飯をモリモリ食べていました。テントなどの片づけをみんなで協力して行いました。

お昼のおにぎりを食べた後は、フリータイム。水遊びでびしょびしょになったり、虫とりをしたり、みんなで焼走りに行くなどたくさんのお友達やリーダーと元気一杯遊びました。

帰りのバスも歌を歌いながら帰り、最後まで笑顔にあふれたキャンプとなりました。

岩手県立大学2年 松平大知（ダイラリーダー）



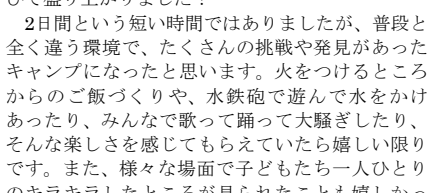
8月7日から8月8日、外山森林公園で森の大自然満喫キャンプがおこなわれました！

1日目！外山森林公園到着後、テントへ自分の荷物や寝袋、毛布をグループで協力して運びました。そしてお待ちかねのお昼ごはん！その後は、グループごとに外山森林公園を探検しながらグループオリジナルの地図を作るというプログラムをしました！しかし、それだけではなく、探検中に他のグループと出会うとバトルが始まるのです。バトルでは、制限時間内に大きな葉っぱを見つけた方が勝ちというバトルや、松ぼっくりを見つけ、対象の木に松ぼっくりを投げどっちのグループが多く充てられるかなど、自然を使ったゲームで盛り上がりました。最後はみんなで集まって、完成した地図をグループごとに発表しました。グループごとに個性溢れる地図ができました。プログラム後は夕食作りをしました。薪割り・火付け・米グループ、カレーグループ、サラダ・ドレッシンググループの3つに分かれて、自分がやりたいことに挑戦しました！キャンプでみんなで作ったカレーは家庭で作るカレーともまた違い、とっても美味しかったです。その後はナイトプログラムのキャンプファイヤー！！「キャンプだホイ」や、脱線ゲーム、猛獣狩りなど、騒ぎに騒ぎました！「明日もキャンプファイヤーやりたい！」「帰りのバスでやろう！」などの声も聞こえてきました。そのくらい楽しい夜を過ごしました！また、星がきれいで、流れ星を見られた人もいました。

2日目！朝食を食べテントの中の片付け・整理をしたら、フリータイム！午前は水鉄砲や水かけをしたり、アスレチックや虫取りに行ったり、たくさん遊びました。昼食後も、好きな遊びをしたり、みんなで展望台へ行ったりしました。最後は水鉄砲で、2つのグループに分かれ、対決するという遊びで盛り上がりました！

2日間という短い時間ではありましたが、普段と全く違う環境で、たくさん挑戦や発見があったキャンプになったと思います。火をつけるところからのご飯づくりや、水鉄砲で遊んで水をかけあったり、みんなで歌って踊って大騒ぎしたり、そんな楽しさを感じてもらえていたら嬉しい限りです。また、様々な場面で子どもたち一人ひとりのキラキラしたところが見られたことも嬉しかったです。すべてのキャンプが終わり、既に来年のサマーキャンプが待ち遠しいマックからでした！楽しい思い出をありがとうございました☆

岩手看護短期大学2年 鬼柳琴（マックリーダー）



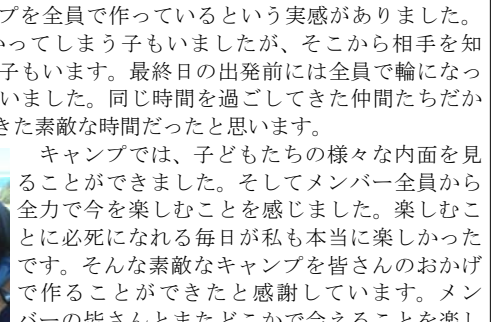
盛岡YMCAサマーキャンプの中で最長である島のわくわくキャンプ。今回は、子ども23名、リーダー8名、スタッフ1名の計32名で3泊4日を過ごしてきました。気仙沼大島の広大な海や山という自然豊かな環境でキャンプを行うことはメンバー一人ひとりの様々な「わくわく」が詰まっていたと思います。お腹がペコペコになるくらい歌った移動中のバスから始まり、フェリーではかまめに餌をあげながら行きました。キャンプでは毎日が楽しいことで盛りだくさん。海水浴へ行ったり、キャンプ場付近の沢へ行ったり、カニをとったり、子どもたちは毎日元気にはしゃぎます。また、全員で探検をした時や朝の集いで「地獄岬」という展望台へ行き、そのきれいな景色に感動もしました。夜は、皆で花火をした日もあれば、グループごとに対決をしながらお風呂まで歩き、負けたチームの顔に大きな落書きをした日もありました。最終日の夜は「スタンプ大会」と「パフォーマンス大会」を開催し、一人ひとりの個性あふれる時間を共有することもできました。このように楽しいことばかりではなく、ごはんや寝るところの準備なども全員で協力し合って過ごしています。日が経つにつれて、子どもたち同士で助け合う様子やみんなのために行動できる子が多くなり、キャンプを全員で作っているという実感がありました。時にはお友達とぶつかってしまう子もいましたが、そこから相手を知り、深い友情を築けた子もいます。最終日の出発前には全員で輪になってキャンプソングを歌いました。同じ時間を過ごしてきた仲間たちだからこそ、作ることができた素敵な時間だったと思います。

キャンプでは、子どもたちの様々な内面を見ることができました。そしてメンバー全員から全力で今を楽しむことを感じました。楽しむことに必死になれる毎日が私も本当に楽しかったです。そんな素敵なキャンプを皆さんのおかげで作ることができたと感謝しています。メンバーの皆さんとまたどこかで会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

盛岡大学4年 安久津里彩（あさりリーダー）

キャンプでは、子どもたちの様々な内面を見ることができました。そしてメンバー全員から全力で今を楽しむことを感じました。楽しむことに必死になれる毎日が私も本当に楽しかったです。そんな素敵なキャンプを皆さんのおかげで作ることができたと感謝しています。メンバーの皆さんとまたどこかで会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

盛岡大学4年 安久津里彩（あさりリーダー）



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 8月報告書

①7月アドベンチャークラブ(2回目)開催!

7月30日に行われたアドベンチャークラブについて、ピーちゃんリーダーこと、インターン生の大藤百華さん(岩手大学3年)よりレポートが届いています。

わたしたちは7月30日に宮古市川井で川下り体験をしました。今回は閉伊川大学の皆さんに来ていただき、川についてたくさんのことを教えていただきました。

まずは川の中に住む水中生物について勉強しました。みんなで石をひっくり返しているような虫を見つけ、グループごとにたくさん虫を集めました。そこには綺麗な水にしか生息できない虫がたくさんいて、宮古の川はとても綺麗だということを実感することができました。次は川下り体験です。川の流れるに身を任せゆらゆらと川を下りました。川で溺れてしまった時にはどのように対処すればいいのかということをお教えいただき、みんなで何度も練習しました。練習を重ねるうちにどんどんみんな水に慣れて上手に川を流れることができるようになりました。最後はみんな思うように川を流れることができるようになりました。

そしてそのあとはみんなでアユやヤマメなど、川魚を焼いて食べました。川で遊んだあとで川の生き物を食べるということは、命の大切さを学ぶことにもつながりました。みんなとても美味しくアユやヤマメを食べていて、おかわりする子もたくさんいました!

そのあとは宮古の自然について勉強しました。川井は昔は海の底にあったこと、宮古にはたくさん生き物が生息していることなどを教えていただきました。

今回はさまざまな活動を通して、自分たちの暮らす宮古がとても素晴らしい自然に囲まれているんだということを肌で感じることできたアドベンチャーとなりました!



↑ ウェットスーツに身を包んでの川流れ体験!



↑ 繰り返すうちに、川にも慣れてきました。川流れからの…大ジャンプ!

②楽しかった、サマーキャンプ!

8月6日から8日まで、宮古の子ども達を対象とした「田沢湖おもいっきりサマーキャンプ」が行われました。チョップリーダーこと、インターン生の川口奈恵さん(岩手県立大学4年)より、レポートが届いています。

田沢湖おもいっきりサマーキャンプでは、宮古の子どもたち21名、リーダー・スタッフ含め17名、計38名で二泊三日でキャンプを行いました。

1日目は、元小学校として使われていた田沢湖潟分校で、虫を捕ったり体を動かして遊びました。ナイトプログラムでは、校舎を活かして肝試しを行いました。夜の雰囲気が一変した校舎はみんなブルッとするほどスリルがあり、悲鳴をあげたり泣いたり、平気な子がいたり、子どもたちは様々な表情を見せていました。

2日目は田沢湖で湖水浴をしました。天気が良かったので温かい水温の湖で泳いだり水の中にダイブしたり、またリーダーを砂に埋めたりと思う存分遊びました。夜にはキャンプファイヤーを囲み様々なゲームをしたり歌を歌ったりして楽しみました。その後、校庭にみんなで座り込み見上げた星空には天の川が見え、あちこちから感嘆の声がもれていました。流れ星もちらほら見え、思い出深い出来事となりました。

3日目は、フリータイムで、いろんな種類のバターやココロギを袋一杯に捕まえたり、みんなで長縄跳びをしたり、リーダーと子どもで卓球対決が始まったり、そして教室を活かして面白い授業が行われていたり…と所々で思い思いの遊びを繰り返していました。帰りのバスでもみんな元気で、しりとりをしたりゲームをしたり、どこからも笑い声が聞こえ、最後の時間まで楽しむ様子が見えました。

今回のキャンプでは、リーダーとお友だちと様々な関係を築き、すべてのことを思いっきり楽しむ子どもたちの姿を見ることができました。潟分校での生活も湖水浴もいろんな遊びも、このキャンプでこのメンバーでしか体験できないことです。最後の見送りの際には子どもたちの清々しい笑顔を見て、いい夏の思い出になったのではないかと感じました。



↑ ゴリナリーダーによる秘密の授業。いったい何を教わったのでしょうか…?



↑ 夜のお楽しみ、キャンプファイヤー! 満天の星空のもと、みんなで大盛り上がりしました。

③津軽石小学校にて水泳教室開催!

8月10日から12日までの3日間、津軽石小学校にて水泳教室を開催しました。コーチとして参加してくれたのは、盛岡YMCAの大学生リーダーたち、宮古市の高校生たち、そして、横浜YMCAのリーダーたちです。

リーダー達とのコミュニケーションや、水遊びを通し、3日間で子ども達はすっかり水に慣れた様子でした。



↑ 元気いっぱいの子もたち。リーダーたちも元気がもらえます。



↑ 初日は水に慣れることから始めました。



☆リーダー紹介コーナー☆

皆さんはじめまして!今回リーダー紹介を担当いたしますのは、ダイラーこと岩手県立大学総合政策学部二年の松平大知です!よろしくお願いたします!

今月のリーダー紹介は、皆さんお待ちかねのチョップリーダーこと川口奈恵さんです。チョップリーダーは岩手県立大学社会福祉学部福祉臨床学科の四年生です。彼女は大船渡出身の三陸乙女で、高校時代は空手部に所属していたそうです。そこから、リーダー名のチョップがきてるんですね~。

チョップリーダーがどんな人物か一言で表すと、「みんなのお母さん」です!(笑)

彼女はいつも他のリーダー達の手伝いをしてくれたり、よくお節介を焼いてくれます!(もちろん良い意味で!)また、彼女の笑い方はとても豪快でついつられて笑ってしまいます。笑い方と同じで、性格も豪快な感じで、ほかのリーダーからは大雑把なんて言われることもあります。まさに肝っ玉母ちゃんって感じです。

ここまで読むと、男っぽい性格かと勘違いされがちですが、ホントの中身はとっ

ても乙女なのも彼女の魅力!実はとってもオシャレさんで、某リーダーのファッションチェック係も担当しているんです(笑)ファッションや髪形などオシャレのことで悩んでる人がいたら、チョップリーダーに聞いてみるといいかもしれませんね!

チョップリーダーについて少しでもわかっていただけたでしょうか?彼女と色々な活動に参加してみてもね!彼女のチョップ攻撃には気を付けて!以上ダイラーでした!

左の写真が今回の記事を書いたダイラーリーダー、そして右が今回紹介されたチョップリーダーです。 →



9月の予定

- ★9月3日(土) 本町スクール休講
- ★9月4日(日) 本町スクール補講
- ★9月10日(土) 本町スクール休講
- ★9月10日(土) 森のようちえん 「どうぶつ大好き♪ふれあいキッズ☆」 (於:盛岡市動物公園)
- ★9月11日(日) 本町スクール補講
- ★9月13日(火) 火曜水泳教室補講(8/30休講分)
- ★9月17日(土) もりおかワイズメンズクラブ 10周年記念式典
- ★9月17日(土) 本町スクール休講
- ★9月19日(祝) 向中野センターバザー
- ★9月22日(木・祝) 仙台YMCAチャリティラン
- ★9月24日(土)～25日(日) アドベンチャークラブ 「バンガローに泊まろう♪」 (田沢湖キャンプ場)
- ★9月25日(日) 本町スクール補講(9/17休講分)
- ★9月30日(金) 金曜水泳休講 篠木スクール休講 盛北スクール休講



君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU” ARE ㊟～

「お互い様」



「毛虫を取ったり、消毒したり、生きているものは皆手間がかかるの。みんなおばあちゃんを受け売りだけだね。」

映画『海街diary』を観た。鎌倉に住む4姉妹の日常を綴った物語で、昨年、日本アカデミー賞を受賞した作品だ。庭先に毎年実る梅を眺めながら「綾瀬はるか」が演じる長女「幸」がボツリと呟いたのが印象的だった。学生時代、夏休みの課題で読んだアドルフ・ポルトマンの『人間はどこまで動物か』を思い出した。生まれてすぐ、4本足で立つ馬や牛、泳ぎだすアザラシやクジラに比べて、人間の新生児は、他者の助けなくしてはほとんどなにもできない。馬やクジラの段階に達するまでは、ほぼ1年かかる。このことは、本来人間は、胎内で2ヶ月間守られて成長しなければならないところ、月足ら

ずで生まれたきた「生理的早産」を意味するという内容だった。

新生児の時だけではなく、幼稚園や保育園の入学、小学校、受験、思春期、就職、結婚、その他もろもろ人生のあらゆる場面で僕たちは、回りの人に多大の迷惑をかけ、時には傷つけ生きてきた。庭に咲く梅でさえ手間がかかるのだから、人間は相当やっかいな生き物に違いない。

日本語には『お互い様』という言葉がある。英語には、どうやら該当する言葉がないらしい。ネットで調べると「We should help each other in times of need.」と書いてあった。shouldには「…すべきである、した方がよい」というニュアンスがある。shouldなしで自然に表現でき、行動につながる『お互い様』は傷つき、悲しみ、助け合い、喜ぶ日本の庶民の生活の中から生まれてきたとても美しい言葉だと思う。

我らに罪を犯す者を 我らが赦(ゆる)すごとく 我らの罪をも 赦したまえ (主の祈り)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

インドでゴリナも考えた。㊟

ゴリナリーダーからのインドレポートも6回目になりました。今回は、インドでのゴミ事情についてのレポートです。

をしても土に還っていく。ポイ捨てをしても問題はないそうだ。

だが近年、プラスチック製品や機械類が国内に流れ、それらもまた以前までと同様にポイ捨てをされているそうだ。その結果、プラスチック製品や機械類をポイ捨てした土壌に植物や作物の根がはらなかつたり、ポイ捨てをしたパソコンを悪用してのネット犯罪などが起きる問題も起きているよう。

そうしたゴミ問題を解決するために動いていることはあるようで、観光地には「USE ME」と書かれたゴミ箱が設置されている。私たちもしっかりとゴミ箱を使わせてもらった。日本でもインドでも同じようなゴミの問題を抱えているのだと感じた時間だった。



岩手大学4年 武田悠(ゴリナリーダー)

前潟☆畑レポート!

ぶらいむ・たいむ前潟校に今年誕生した畑では、日々野菜たちがすくすくと育っています。最近収穫されたのは、きゅうり、トマト、そしてとうもろこし! 自分たちで育てて自分たちで収穫した野菜は、もちろん自分たちでいただきます。自分たちで収穫した野菜の味は、やはり格別なようです! みんな、ぺろりとたいらげていました。



↑きゅうりの浅漬けを食べ、この表情。

↑収穫した野菜は、みんないただきます!

表紙の写真から



宮古の子どもたち対象「おもいっきりサマーキャンプ」より!

感謝

(2016年度8月29日現在)

五十音順・敬称略

●維持会費

浅沼慧、有我啓作、飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、一戸貞文、伊藤克見、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、魚住英昭、鶴丹谷三三子、遠藤昌樹、及川忠人、大岡靖二、岡田虎治、尾形裕一郎、小川明浩、小川嘉文、小澤聡、レナード、押切梓、小山憲彦、川坂保宏、神田橋慧一、菊地弘生、北田アユ子、君塚彩、熊谷圭祐、熊谷映希、熊谷力實、昆野香代子、今野聖子、今野健男、斉藤恒夫、佐藤翔、清水治彦、高瀬裕夫、立花良、長岡和義、名古屋恒彦、南原良哉、花田瞳、濱塚恵天、濱塚直樹、濱塚牧人、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、林辰也、原寛、人見晃弘、松尾聡子、増田隆、水田賢次、光永尚生、守下昌輝、森山日菜乃、森山幹大

●寄附金

池田二郎、伊藤克見、遠藤昌樹、熊谷圭祐、熊谷紗希、熊谷力實、昆野香代子、佐藤翔、高瀬裕彦、南原良哉、早坂春希、花田瞳、原寛、人見晃弘、光永尚生
飯島隆輔、大阪YMCA、私立捜真小学校、馬場一郎、日本基督教団城西教会、ワイズメンズクラブ西日本区

●熊本地震・YMCA救援・復興募金

家村知佳、石崎真珠、伊藤真一郎、伊藤真太郎、小畑孝子、北田アユ子、君塚彩、熊谷亜希子、熊谷力實、昆野香代子、昆野璃紗、清水弘一、菅恵、名古屋恒彦、増田隆、松尾聡子、吉田航平、吉田美波

●熊本地震被災YMCA支援募金

浅沼慧、浅沼美希、家村知佳、石崎真珠、伊藤真一郎、伊藤愛美、井上修三、岩井和己、鶴丹谷三三子、遠藤昌樹、大岡靖二、小笠原真紀子、尾形裕一、小川明浩、小川嘉文、工藤泰、佐々木千賀子、高橋亜也子、滝川佐波子、立花良、日本基督教団内丸教会、日本基督教団宮古教会、濱塚真美、濱塚有史、早坂春希、女鹿乃々華、盛岡YMCAリーダー会、もりおかワイズメンズクラブ、四元尚志、吉田琥太郎

